

中国四国農政局管内における平成19年度調査結果について

1. 調査結果概要

(1) 調査内容

調査対象生物：魚、カエル、カワヒバリガイ、ホテイアオイ

魚調査：48地区、268地点

カエル調査：46地区、48地点

カワヒバリガイ、ホテイアオイ調査：46地区

(2) 参加団体：78団体

中国四国農政局、土地改良調査管理事務所、国営事業所、緑資源機構	計11団体
県、市町村、土地改良区及び県土地改良事業団体連合会	計52団体
小学校、子供エコクラブ、地域住民等	計15団体

(3) 調査期間

平成19年6月中旬～9月中旬

(4) 調査結果

魚調査は、全268地点で実施した結果、202地点(75%)で何らかの種が採捕されました。

カエル調査は、全48地点で実施した結果、45地点(94%)で何らかの種が採捕されました。

採捕された 魚：12科41種

カエル：2科6種

中国四国農政局管内で多く採捕された上位5種

(カッコ内は採捕地点数を示しています。)

魚

メダカ(51)、ドジョウ(50)、カワムツ(40)、ギンブナ(39)、タカハヤ(27)

カエル

ニホンアマガエル(29)、トノサマガエル(27)、ヌマガエル(21)、ツチガエル(17)、

ニホンアカガエル(5)

希少種（環境省レッドリストに挙げられている種）

魚では5種

メダカ（51）、ヤリタナゴ（5）、アブラボテ（4）、カワヒガイ（1）、スジシマドジョウ（1）

国外外来種（ここでは、国外から移入してきた種を指します。）

魚では6種

タイリクバラタナゴ（21）、ブルーギル（7）、カムルチー（6）、オオクチバス（5）、カダヤシ（5）、カラドジョウ（1）

カエルでは1種

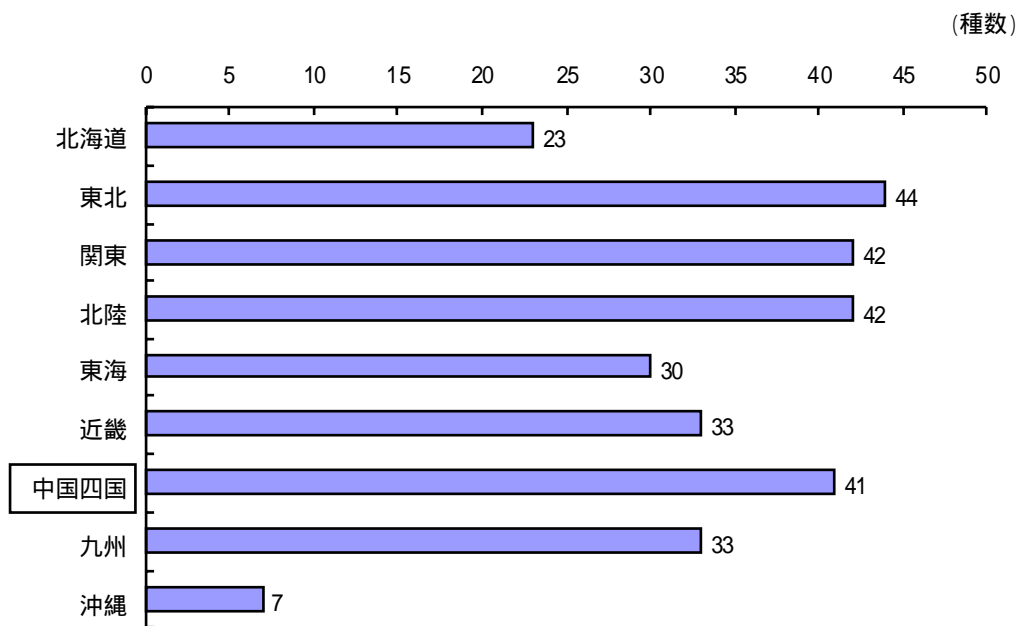
ウシガエル（1）

2. 魚調査結果

（1）総採捕種数

中国四国農政局管内では合計12科41種（亜種を含む）が採捕されました。（下図）
また、全国では合計22科88種（亜種を含む）が採捕されました。これは、我が国に生息する汽水・淡水魚約400種（亜種を含む）の22%にあたります。

中国四国農政局管内で採捕された魚種一覧を以下に示します。



農政局別採捕種数

平成19年度に中国四国農政局管内で採捕された魚種一覧

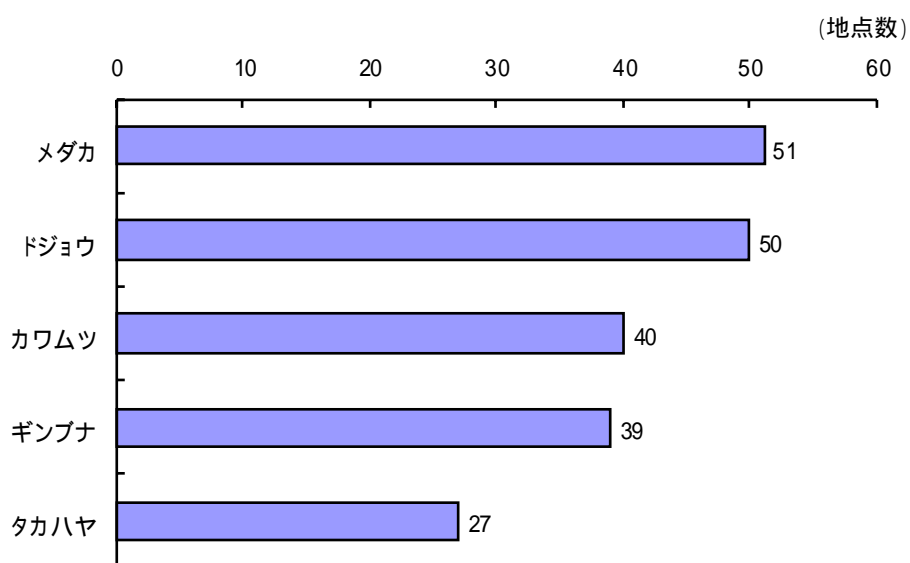
番号	科名	種名	採捕地点数	環境省レッドリスト	備考
1	ウナギ	ウナギ	6		
2	コイ	コイ	4		
3		ゲンゴロウブナ	1		
4		ギンブナ	39		
		フナ属	1		
5		ヤリタナゴ	5	準絶滅危惧 (NT)	
6		アブラボテ	4	準絶滅危惧 (NT)	
7		カネヒラ	2		
8		タイリクバラタナゴ	21		国外外来種
9		ワタカ	1		
10		オイカワ	22		
11		カワムツ	40		
12		ヌマムツ	4		
		オイカワ属	3		
13		タカハヤ	27		
14		ウグイ	1		
15		モツゴ	22		
16		カワヒガイ	1	準絶滅危惧 (NT)	
17		ムギツク	9		
18		タモロコ	26		
19		カマツカ	9		
20		ズナガニゴイ	1		
21	コウライニゴイ	9			
	ニゴイ属	1			
	コイ科	2			
22	ドジョウ	ドジョウ	50		
23		カラドジョウ	1		国外外来種
24		シマドジョウ	16		
25		スジシマドジョウ 小型種	1	絶滅危惧 IA 類 (CR), 絶滅危惧 IB 類 (EN) のいずれか	
26	ギギ	ギギ	2		
27	ナマス	ナマス	9		
28	アユ	アユ	1		
29	サケ	アマゴ	1		
30	カダヤシ	カダヤシ	5		特定外来生物
31	メダカ	メダカ	51	絶滅危惧 II 類 (VU)	
32	サンフィッシュ	オオクチバス	5		特定外来生物
33		ブルーギル	7		特定外来生物
34	ハゼ	ドンコ	18		
35		ウキゴリ	3		
36		マハゼ	1		
37		ゴクラクハゼ	1		
38		トウヨシノボリ	15		
39		カワヨシノボリ	10		
		ヨシノボリ属	22		
40		ヌマチチブ	2		
41	タイワンドジョウ	カムルチー	6		国外外来種

番号	科名	種名	採捕地点数
1	メダカ	ヒメダカ	1

(2) 採捕地点数が多かった種

中国四国農政局管内で採捕地点数が多かった上位5種の地点数を下図に示します。地点数が最も多かった種は、メダカの51地点であり、ついでドジョウの50地点でありました。

また、全国で採捕地点数が最も多かったのはドジョウであり、全調査地点(1,492地点)の26.5%にあたる395地点で採捕されました。ついで、ギンブナ(186地点)、タモロコ(185地点)、カワムツ(151地点)、メダカ(148地点)となっていました。



採捕地点数上位5種(中国四国農政局管内)



メダカ



ギンブナ



ドジョウ



タカハヤ



カワムツ

3. カエル調査結果

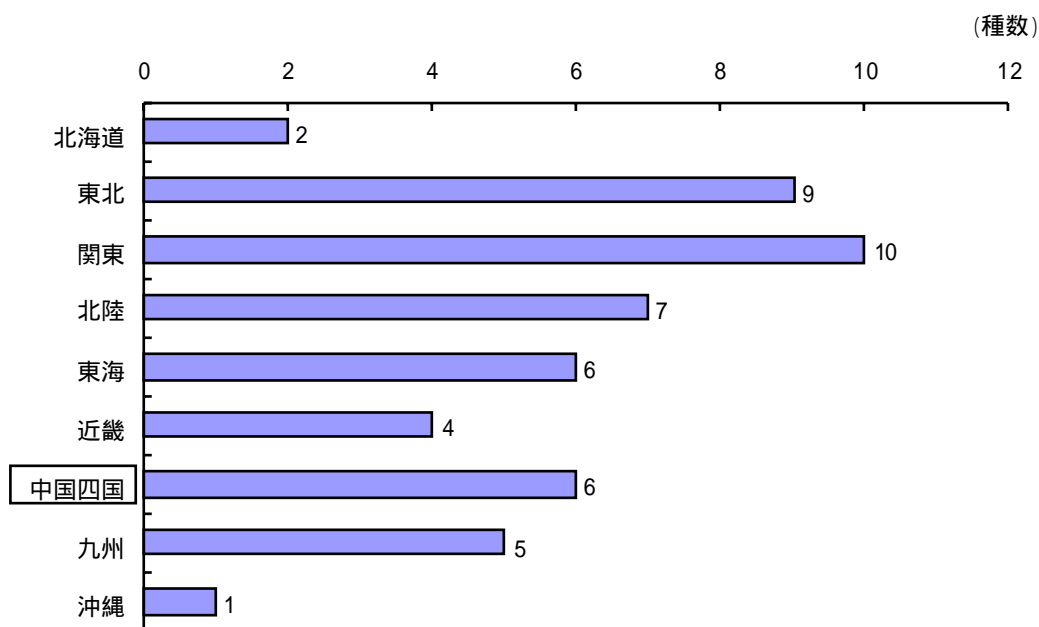
(1) 総採捕種数

中国四国農政局管内では、合計2科6種（亜種を含む）が採捕されました。

また、全国では263地区349地点で合計4科14種（亜種を含む）のカエルが採捕されました。これは、我が国に生息するカエル43種（亜種を含む）の約33%にあたります。

平成19年度に中国四国農政局管内で採捕されたカエル一覧

番号	科名	種名	採捕地点数	環境省レッドリスト	備考
1	アマガエル	ニホンアマガエル	29		
2	アカガエル	ニホンアカガエル	5		
3		トノサマガエル	27		
		トノサマガエル亜属	1		
4		ヌマガエル	21		
5		ウシガエル	1		特定外来生物
6		ツチガエル	17		



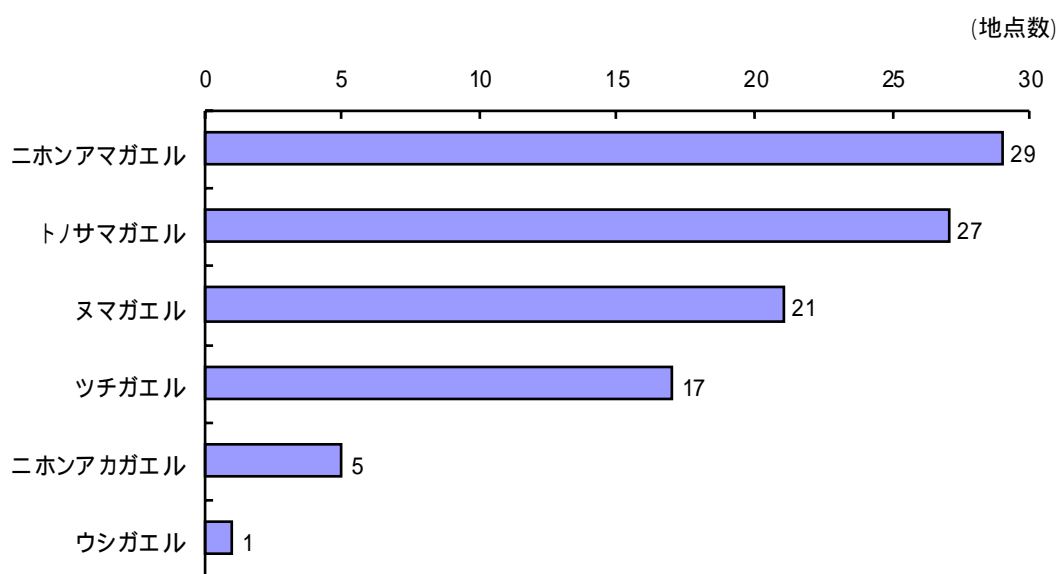
農政局別採捕種数

(2) 採捕地点数が多かった種

中国四国農政局管内で採捕されたカエルの採捕地点数を下図に示します。

採捕地点数はニホンアマガエルが29地点と最も多い結果となりました。

また、全国で採捕地点数が最も多かったのはニホンアマガエルであり、全調査地点数(349地点)の51.3%にあたる179地点で採捕されました。ついで、トノサマガエル(125地点)、ヌマガエル(89地点)、ツチガエル(64地点)、ニホンアカガエル(46地点)でありました。



種毎の採捕地点数(中国四国農政局管内 48地点)



ニホンアマガエル



トノサマガエル



ヌマガエル



ツチガエル



ニホンアカガエル



ウシガエル

4. 外来種（カワヒバリガイ、ホテイアオイ）調査結果

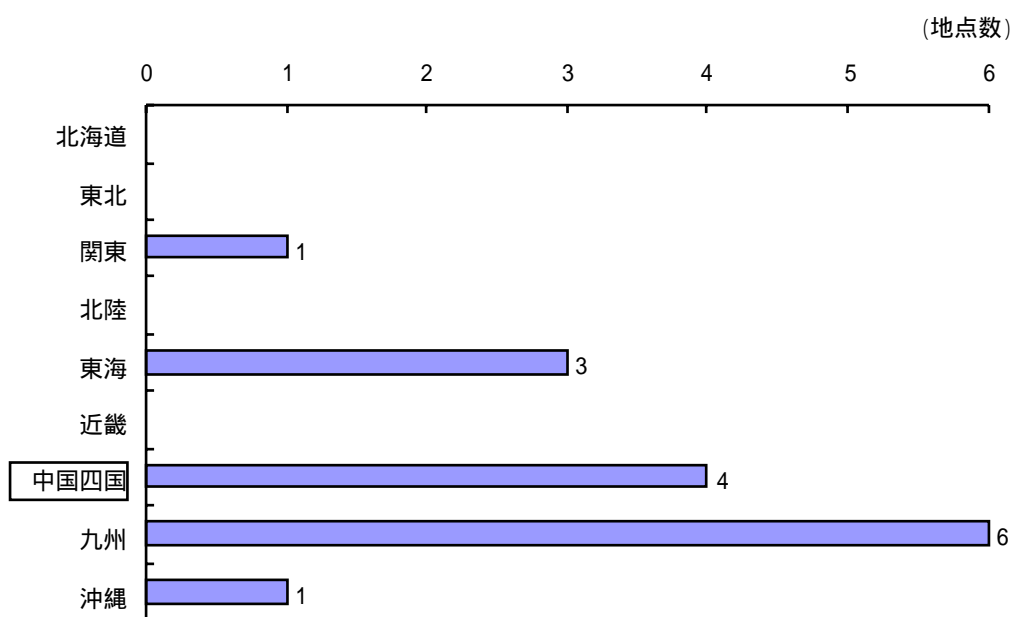
平成19年度は、魚、カエル調査に加え、農業用水利施設に被害を及ぼすことが懸念・発生している国外外来種のカワヒバリガイ（二枚貝、特定外来生物）とホテイアオイ（植物、要注意外来生物）について調査を行いました。

中国四国農政局管内では、ホテイアオイが2地区4地点で確認され、カワヒバリガイは確認されませんでした。

また、全国では10地区15地点でホテイアオイが確認され、カワヒバリガイは確認されませんでした。



中国四国農政局管内で確認されたホテイアオイ



ホテイアオイ確認地点数（農政局別）